

今、注目しておきたい KATO の Nゲージ製品シリーズ ③

博多-大分間を結ぶ、青い稲妻。

# <青いソニック>



## 883系リニューアル車(3次車)

お待ちせしました。

# 新登場!



3月発売

博多-大分間 2時間20分  
東九州のトップスター登場!

今度の883系はココが違う!

大分自動車道の全線開通を翌年に控え、JR九州が博多-小倉-大分間を走る「にちりん」の速度向上を目指して平成7年(1995)に投入したのが、制御付振り子機構を持つ883系特急形交流電車(愛称: Sonic 883)です。併せて斬新でポップなデザインの車両を投入する事で、走行線区である日豊本線の輸送環境とイメージの改善が計られました。平成17年(2005)からリニューアル工事が実施され、車体全体がインディゴブルーメタリックになり、イメージを一新しています。今回発売する3次車を含めた7両組成8編成が大分車両センターに配置され、「ソニック号」で活躍中です。



① クロハ882・クモハ883にヘッドライトカバーを採用。ヘッドライト(電球色)フォグランプ(イエロー)が点灯。



② クロハ882・クモハ883の乗務員扉に増設された手掛けも新規に表現。



③ クロハ882のドア付近にある小窓も再現。



④ プロトタイプ「Ao4」編成の3号車、4号車は100番台で設定。外観の揃った統一感のある編成を模型化。



⑤ 883系「ソニック」のアイデンティティの一つ、SONICロゴの入ったサンバイザーもシールに収録。

最高速度130km/h。車体を傾けてカーブを高速で抜ける、豪快な走りが魅力のSONICです。